

# 図書館だより

Library News No.52

Nara National College of Technology

2001年7月 奈良工業高等専門学校図書館発行



## 目 次

巻頭言 「学ぶ」ということ	
図書館長 宮本止戈雄 .....	2
新任教官からのメッセージ .....	3
卒業生からのメッセージ .....	5
多読表彰について .....	9
図書館のリニューアルについて .....	10
学生図書委員会の広場 .....	12
図書館利用状況 .....	14

2001年度図書館委員会・学生図書委員会 .....	15
いくつもの偶然をへて	
人は人に会い、人は本に出会う	
読書感想文コンクールに応募しよう! ...	15
街の図書館に出かけよう! .....	15
友情を育てよう! .....	16

表紙のカット 51 轡 華代子さん

図書館の閲覧室が改装されて広くなりました。図書館は狭義的には書物、雑誌、新聞などの資料を保管し、多くの人達に読んでもらう施設ですが、学校にあってはそれだけの場所ではありません。情報化時代に伴う高度な情報手段を教育研究に十分に活かせるための訓練の場としても存在しています。また授業を補い、先生の講義から派生する学習内容を更に深く知るという研究や真理の追究に欠かすことのできない学舎（まなびや）というべき施設です。学生諸君の自主的な学習活動の拠点としてその機能が充実することを共に喜びましょう。

君たちは高専に入学して技術者としての知識や技術を学んでいるわけですが、同時に社会の一員として真に教養ある人間としての成長を心がけ学ぶことを期待されています。

「学ぶ」ということの意味を少し広い意味で考えてみましょう。英語ではlearnにあたりますが、この単語には学ぶ・覚えるの他に、知る、聞く、習うという意味を含んでいるのは中学生以上の者なら誰でも知っています。また日本語の「学ぶ」は「まねぶ」の転訛したものであると言われていています。先人の生き方をまねて学ぶ。即ち、聞いたり見たり経験したりして覚えること、模倣すること、習うこと、これらがすべて学ぶというわけです。深く学べば、自ら考えて理解しようとするようになります。

考えることは、話をしたり、文章を書くときには言おうとする主旨を明確にし、読書や学習では物事の要点を理解することです。思考がなければ焦点が定まらず、ぼんやりしたものとなります。人は青春時代と言われる頃に自我を持ち、自分の生きかたや志、友情や恋愛などについて、焦点を定め確かなものにしようとして真剣に考えるようになります。ところがこれらの事柄は幅も広く奥行きがとても深いので、いくら厳密に考えても漠然として定まったものとはならず思い悩むことにもなります。

パスカルは、「人間は考えるようにできている。理性的に考えるようになって初めて人間としての特質を備える。」として、考えることの大切さを言っています。ロダンが「考える人」や「パンセ（思考）」の彫像を生み、思考をめぐらし思索するという人間の本质を美として表現しています。

自分の求めるところを思索し、志を抱くことは、何より強い意志を持つことになるでしょう。思索を重ね自分の確かな意志を形成していく過程で、先人の生き方は参考とすることができます。生きている境遇や生活基盤が人それぞれ異なっているのでそのまま真似はできませんが、何を究めようとしているか、それを汲み取り参考にすることはできます。島崎藤村は、その詩集にのしした序文の一節で「生命は力なり。力は声なり。声は言葉なり。新しき言葉はすなわち新しき生涯なり。」と表現しています。言葉に自分の生命を宿そうとしていたことが分かります。

読書により物事を理解することができ、古人や見知らぬ人と心髄までふれあい、親しい友人にも劣らない友情を深めることができます。図書館を活用することが君たちにとってどれだけ意義があり、喜ばしいことなのかよく考えてみて下さい。そして時には、知恵の宝庫とも言える図書館で、先人達に学び「考える輩」となって漂ってみましょう。リニューアルした図書館が十分活用されることを切に願っています。

# 新任教官からのメッセージ

## 読書する場所

一般教科 高橋 美帆

高校時代は部活動で朝から晩まで忙しく、さらに受験勉強もあって、読書の時間は激減しました。今から思うと、柔軟に刺激を吸収していける若いうちに、もっともっと多読乱読しておけばよかった、と後悔しきりです。みなさんには、今のうちにできるだけ多くの本を読んでほしい、と声を大にして言いたいです。

しかし、気に入った本をゆっくりと時間をかけて読みたくなる時、私には秘密の場所がありました。家から自転車で15分足らずのところ、あまり人の来ない防波堤があったのです。天気の良い日に、テトラポットの上に腰掛けて、海を眺めながら潮風をうけて、くつろいで本を読みました。ただあまりに日差しがきついと、新しいページの白い色で目が痛いように感じることもありました。

大学構内には適当にベンチが置いてあり、大抵は学生が本を読んでいる光景が見られます。私も特定の場所を決めて、気が向いたらそこで本を読んでいたが、実際の読書量は、通学の電車の中が一番多かったように思います。リラックスするというよりは、高校時代にサボってしまった分、少しでも多くの本を読みこなさなくては、という焦燥感が強かったのです。この頃から、活字中毒症がはじまりました。しかし、電車のような揺れる場所で目を酷使したためか、視力はぐんと下がりました。

そのうち、さまざまな場所を旅するようになって、今度は遺跡で本を読む楽しみを見つけました。時間に追われてばかりの毎日を忘れて、遺跡のなかに漂うゆったりとした時の流れを楽しむようになりしました。そのような場所では、ペーパーバックを開いて座り込んでいる人が必ず数人はいます。日差しの強い時は木陰や建物の影に移り、ランチを持参して、何時間も何時間も、ときどき本

から目を離しては瞑想にふけり、また本に戻って、黄昏が辺りを満たすまで、ずっと遺跡のなかにいるのです。私もそんな本の読み方や時間の過ごし方が、好きになりました。また、ペーパーバックはどんな光にも柔らかく反射することを知りました。

このように、多読したい気分のおきはどこでも本を開きますが、ゆっくりと読みたい本を開く時には、場所にも余裕が必要です。最近気に入っているのは、バスタイムの読書です。といってもおしゃれなものではなく、本を濡らさないようにバスタオルを敷いたふたの上にのせて、滑稽な格好で読んでいます。しかし、多少湿ってしまうのは避けられません。最近は撥水性の紙で作られた本も出版されているようですが、高価なうえ種類も限られていますので、あまり魅力は感じられません。

さて、みなさんには秘密の読書空間はありますか。高専の敷地の中には最適な場所がたくさんあるように思われます。みなさんに出来るだけたくさん本を次々に読んでほしい、という気持ちはもちろん強くありますが、同時に、落ち着いた場所で、ひとりきりで、ゆったりと本に向き合う喜びも知ってほしいと思っています。

## 後悔しないように

機械工学科 酒井 史敏

この図書館だよりに「新任教官からのメッセージ」を書く機会をいただきましたが、私は普段ほとんど本を読まないで困っています。ここでみなさんに本を紹介することができないということはもちろんのこと、文章を書いていて自分の文章力の無さを感じています。本をたくさん読むことで語彙や文章力が増すことは当然ですが、その他に読書で得られる利点をいくつかあげてみると、

長文の大意をつかむことがうまくなり、いろんな分野、いろんな文体、いろいろな表現に慣れてくると、著者の話の展開の先までも見通せるくら

い読解力が高まる。文章を読み取る力だけでなく、それを整理してまとめる力や、自分の主張を表現する力も要求され表現力が高まる。勉強だけでは得られない多彩な表現力が読書によって身についてくる。物語りの展開につられて夢中で先を読み続けるときに、高い集中力を獲得することができる。忍耐力が高まる。などたくさんあるようです。

これらのことは、みなさんが今後いろいろなことを勉強していく上でとても大切なことだと思います。本を読むことで人生の深い味わい、栄光と挫折、苦と楽の織りなすこの世のあやを知ることができ、さらにこのようにたくさんの利点があるということは素晴らしいことだと思いますか。

奈良高専には素晴らしい図書館があるのでから、私のように後々後悔することのないように積極的にたくさんの本を読んでほしいです。私も数年後にまた同じ後悔を繰り返さないために（もう手遅れかもしれませんが。）できるだけたくさん本を読んでいきたいと思ひます。

## 疑似体験としての乱読のすすめ

電子制御工学科 福田 和廣

アインシュタインの特殊相対性原理によると、もし光速に近い速さで飛ぶロケットに乗って銀河系を旅すると、地球に残った人よりも乗員は若さを保っている。15才の時に乗船して、地球時間で30年後に帰還したら、友人は45才になっているが自分はまだ35才だ、なんてことがある。光の速度近くで飛ぶロケットの中では時間がゆっくりと進むのである。

他の人より若いことはいいことではあるが、単に喜んでいいのだろうか？ロケットの中では時間自体がゆっくり進むのであって、喜びも悲しみも苦しみもすべてが少なく、人生の経験が地球に残った人よりも少ないのである。経験があつての人生である。楽しいことを多く経験するのは勿論いいが、かりに苦しくとも悲しくとも過ぎてしまえば、よい経験となって人を人として育てる。人生の目的の一つと呼べる「自己実現」は経験なくしてありえない。人が一生の間に来る経験は知れ

ている。どんなに旅をしても冒険をしてもその行動範囲は限られており、時間的にも現代だけに限定される。

多くの経験を積む最も効果的な方法は、疑似体験ではあるが「読書」である。多くの本を読んだ人に、十分経験を積んだ老人のような深さを感じるの、その人が多くの（疑似）体験をしているからである。しかも読書から得られる体験は、日本のみならず世界中の人と、また現代だけでなく過去に生きた偉人との交流を持つことが出来、またその主人公になりきれる。ある時はナポレオンであり、あるときは光源氏であり、あるときはスカーレットオハラである。疑似体験をするなら、なにも本でなくとも映画やテレビでもいいではないか、と考える人もいる。確かに映画やテレビからも感動するが、それは視覚から入った受動的のものであり、文字から自分でつくるイメージ世界に比べてその経験度は弱く、持続性に欠ける。また、書物が何千年の歴史を持って生き残ったのに対して映画は100年の歴史しかなく、誰も彼もが映画を製作出来る物でもない。

若い時に本を読むことは、多くの経験を潜在意識として自分の中に蓄積することになり、大変有意義なものになる。どんな本でもよい、また読む習慣を付けておけば、きっと将来苦しいときに本から助けられることがある。なぜなら、あなたには、人類何千年にわたる先輩、友人がおり、彼らは書物という形で知恵をあなたに残してくれているからである。学生時代にはより多くの疑似体験をするためにも、乱読と言えるほど多くの書物を手当たり次第に読むことをすすめる。

奈良高専の諸君、新しい体験を求めて、光の速度のロケットに乗って四次元世界の旅に出てみよう。本を片手に。



## 卒業生からのメッセージ

### ありがとう！奈良高専図書館

東京工業大学 反橋 一真  
(機械工学科)

奈良高専の図書館には、本当にお世話になりました。僕は小説が好きなので、読みたい本を学校で借りられるというのはかなりありがたいものです。しかも、どういうわけか、ここの図書館には他の図書館にないおもしろい本がたくさんある。古い本から新しい本まで、ジャンルを問わずにおいてあるので何でも読める。地元の図書館がなく、本屋、古本屋で探しても見つからなかった小説が学校の図書館にあったりしたときは嬉しいものです。さらに、長編小説などは、続きをちゃんと入れてくれるので、新刊が出版されるたびに図書館に足を運びました。

レポートの課題用や受験勉強にも図書館を利用しました。専門科目、一般科目の参考書・問題集と手当たり次第に借りて帰り、家で使えそうな本に目を通したり、2週間で終わらなかった問題集をもう一回借りたりして、勉強しました。とにかく本が借りられるので、役に立たない高い参考書を買ったりしなくてよいので助かりました。

本に関しては、5年間でかなり利用したと思いますが、LDなどに関しては、一度使ってみようと思いつきながら結局利用しないまま卒業まで来てしまったのが心残りですが、奈良高専の図書館には本当に感謝しています。皆さんも図書館を利用して、楽しい高専生活を送ってください。

### 5年間＊僕＊図書館

森精機製作所 水田 仁  
(機械工学科)

高専に入学して、初めてこの図書館に入ったときはその充実していることに驚いたものでした。それまで僕は図書館というものを、全くというほど利用しなかったのですが、5年経った今考えると、この5年間は結構利用したな、と感じました。低学年の間は、よく実習の報告書作成のために参

考文献を借り、鞆を重くして帰宅しました。「本を借りる」程度で、図書館を利用する頻度は少ないものでした。

その頃定期試験の勉強や何かは、自宅で済ませていました。が、自宅では殆ど集中できず、疎かになって当然成績はお粗末でした。そろそろ危うくなってきた頃僕は試験前、友人のお供で図書館にて試験勉強をしました。1週間、毎日放課後に図書館で勉強してみると、その回における試験の成績は、見違えるほどまともになりました。図書館なら単純に集中でき、気を散らせる物が傍に無いため、勉強がはかどったのでしょうか。そして読書をする機会も多くなりました。パソコンの知識を得るため雑誌を読んだり、暇つぶしに「サザエさん」の46冊を読破したりしました。しかしながら難しい小説には手を出しませんでした(利用の形は人それぞれだと納得した)。

好みの本が多いから、集中できるからなど、図書館の利用の意図は個人で様々です。しかし、利用するからにはマナーをしっかり守れるかが大事だと思います。周りに人がいてもいなくても、図書館という所はそういう場所だと思います。

### 私の図書館の利用法

サントリー 安部 華代  
(電子制御工学科)

図書館といえば、大体の人はレポート提出前やテスト前などに利用していると思います。特にテスト直前になるとすごい賑わいようで圧倒されてしまいますが、私がよく利用していたのは朝の授業が始まる前の30分間と、授業のある時間帯でした。私は比較的朝早く学校に到着していたので、ほとんど人のいない朝の図書館には気が向いた時によく行っていました。静かな図書館では誰にも邪魔されることなく自分の時間を持つことができましたように思います。

そんな図書館では、まず聞いたことのある名前の文学作品を片っ端からあたって行って、その後

は童話類（以外に多い）ノンフィクション、簡単な心理学などと興味を引いたものをどんどん借りました。借りただけで読まずに返した本もたくさんあったので、借りた冊数の割にはちゃんと読んだ本は少ないのですが、通学で電車に乗る時間が長かったので、電車の中でそれらの本を読んでいます。

もちろん専門書の数は圧倒的ですが、趣味の分野の本もそこそこ置いてあるし、自分の知らない世界をちょっとのぞいてみる程度には種類もそろっているのではないのでしょうか。お店では買わないような本を、ちょっと読んでみる。そんな小さなことでも、自分の視野は広がっていくのではないかと私は思います。こんな私の図書館の利用法も、少し参考にしてみてもいいでしょう。

## 自分にとっての意味

長岡技術科学大学

Khairul Azmi bin Ahmad Raslan

（電子制御工学科）

私は図書館に入ったとき少しびっくりしました。なぜなら、図書館と思わないほどにぎやかでした。私には図書館というのは静かな場所の印象でした。高専の図書館は大した大きさではないから、ど真ん中で騒ぐとほぼ図書館全体に聞こえます。私は図書館で勉強するのはあまり好きではありませんが、静かに読みたい人が絶対いると思います。というより図書館は静かにというのが常識のことですから…。でも、最近は注意されたようで、騒ぐことが少なくなりました。これこそ図書館です。

まあ、一つのマイナスの印象でしたが、良い事が沢山あります。入口の隣に並んでいる雑誌の所が一番気になる所でした。私は小説のような長いストーリーの読書が好きではありませんが、雑誌は結構読みます。おかげで学校が終わってから寮に帰るまで図書館に寄って、そこで雑誌を読む習慣がつかえました。特にスポーツと英文の雑誌でした。あそこのコーナーも落ち着いた雰囲気、とても良いと思います。

さらに、パソコン、インターネット、LDまで

設置されています。インターネットで私は家族や友達とのメールのやり取りができました。母国まで電話をかけるのが大変お金がかかりますが、図書館にインターネットがあることが大変役に立ったのです。あまり使いすぎて迷惑もかけたと思いますが、他人のことも考えて、良い方向に使いたいです。

もう一つはLDが見られることです。私は図書館にある洋画がほとんど見た物なのであまり気にならなかったが、気になるのは日本のアニメでした。もちろん私の国でも日本のアニメが流されているが、既に英語かマレーシア語に訳されたものです。しかし、やはり日本語で聞くのが面白かったし、日本語の勉強にもなりました。

## 図書館へLet's go !!

大阪大学 新宅 聡子

（情報工学科）

私は5年間の高専生活で、相棒の平野さんと共に学校の様々な施設をおそらく普通以上に利用しました。図書館もその1つです。

高専の図書館は一般の図書館と違い、とても利用しやすかったです。小説、雑誌など、新刊が出るとちゃんと入荷されていましたし、専門書は高専生に関係する本がそろえられていたので探しやすいかったです。また、映画も面白いものがそろっていましたので、お金の無い学生である私にとっては、とても有り難いものでした。

ここで、皆さんに図書館をもっと楽しく利用していただくため、普通ではあまり読まれていないと思われる面白い本を紹介しましょう！まず、1冊目は「夢占い」です。この本は毎晩夢を見ると



いう方にお薦めの本です。自分の隠れた欲求なんかが見えちゃったりします。2冊目は「奇跡を起こす法」です。この本は、図書館で友達と語っている時に偶然見つけて大笑いした、かなり古い本です。最近、話のネタが無くて困ってるんだよ、という方にお薦めです（内容はともかく、構成に注目してみてください）。前者はすぐに発見できると思いますが、後者はなかなか発見しにくい場所にありますので、ぜひ宝探しでもすると思って探してみましょ（今も存在するかは不明）！  
このような楽しい本が、他にもたくさん図書館にあります。みなさんも図書館を探検してみたいかが？

## 自分のことば

堺化学 平岡 茂美  
（化学工学科）

本の魅力は、自分の思っていることをどのように表現すればいいかを発見できるところにもあるように思う。考えても何も浮かんでこなかったり何も考えなくなかったりするとき、本を開いて少し別世界を散歩してみる。すると意外と気持ちに余裕が生まれていたりして、大げさに構えなくても世界は広がるということを実感できる。

ぱらぱらと読める絵本や詩集の中に出てくる言葉。これらは極限にまで研ぎ澄まされており、一言一句に果てしない重さを感じることができる。また、長編の中の一文に、打ちのめされることもある。そこにしか在りえない文句。それが自分の感覚と見事に重なっているとき、身体が熱くなるような感じに襲われる。

シンプルな言葉の奥に、はかり知れない世界を感じたとき、わたしは自分が自分であることを再確認できる。しかし、こういった言葉は創ろうと思って考え込んだところで浮かんでくるものではない。そこが本のすごいところだと思う。本を書いたのも同じ人間だと思うと圧巻され、自分の持つ語彙の少なさがつくづく思いやられる。

自分をよく知るといこと、自分を伝えるといことは、なかなか思うようにできないことではあるけれど、まずは言葉に託す他ないのではない

だろうか。そのために本を開くことは、決して悪いことではないと思う。目標は自分の言葉を見つけること。スペシャリストたちの言葉が図書館いっぱい溢れている。

## ファイナンシャルプランナー(F P)

東洋製罐 米里 光貴  
（化学工学科）

ファイナンシャルプランナー（英語では Financial Planner、F P と略す）という言葉がテレビや新聞などのメディアを通じて見聞きしたことはないでしょうか。私はそのF Pです。ここではF Pになろうとしたいきさつ等々について述べようと思います。

奈良高専では工学を専門に学びます。私はここで得た知識なりを活用して会社で働くことになり。また同時に社会人となり、様々な法律の基での制度を遵守し活用しなくてはなりません。しかしながら学校での教育のみではこういったことには十分に対応できません。このことからF P資格取得のための勉強を通じて、金融・不動産・社会保険・税金・相続等に関する知識を得ようと考えました。そんなことは必要ないと考える方もいるでしょう。では退職後の資金となる年金を例にしてその必要性について考えてみましょう。

来年には確定拠出型年金（知っていますか？）が導入される見通しです。この新たな年金制度（企業型）では、加入者それぞれのために、企業が長期にわたって月々お金を拠出し、拠出された資金の運用方法を自己責任の下で加入者自身が選択し決定するようになります。運用によって高収益を得ることも、元本（投資した金額）を割ることもあり得るわけです。この結果がそのまま自分の年金額に反映されます。簡単なシミュレーションをしてみましょう。

毎月2万円を投資信託（知っていますか？）などに積み立て投資して年利（年間の利回り）8%（税引き後）で運用できれば10年後には368万円、40年後には7029万円になります。では銀行や郵便局の預貯金に預けた場合はどうなるでしょうか。同様に2%で運用できたとする、

10年後には266万円、40年後には1471万円となります。年利の差は長期投資による複利運用効果によって、より顕著に表れますね。

8%なんて無理に決まっていると思込んでいませんか。必ずしも高利回りを狙う必要はありませんが、目標とする収益を得るためには、経済・金融の知識は欠かせません。でもこれだけでは不十分です。運用の知識を身に付ける必要があります。図書館にある本やインターネットを活用して勉強してみたいはいかがでしょうか。

最後にFPの定義を。FPは“顧客の家族構成をはじめ、収入と支出、資産と負債、保険の加入状況などあらゆるデータを集め、要望や希望・目標を聞き、現状を分析した上で、それに基づいて顧客のライフプラン上の目標を達成するために、必要に応じて弁護士、税理士などの専門家の協力を得ながら、貯蓄計画、保険・投資対策、税金対策など包括的な資産計画を立案し、その実行を援助する専門家”と定義されています。家庭におけるマネードクターといったイメージになるでしょうか。

## 図書館

テクノス株式会社 熊谷 敬士  
(機械制御工学専攻科)

高専図書館ではじめて本を借りてから、7年ほどになりますか。自分は、本科5年、専攻科2年を過ごしてきたので、この図書館に出入りした回数は普通よりは少し多い目、ということになります。自分はどちらかと言えば頻繁に本を読んでいるような読書家ではありませんが、本を読みたいと思ったときには、一気に何冊も時間をおかずに読むタイプですので、図書館のおかげでずいぶん助かったと思います。所蔵されている書籍も多岐にわたっていますが、広すぎたり、量が多すぎると言うこともなく、ジャンルを限定せずに本を読む人間にとっては大変有益な場であったと思います。内容の軽めの本、特に古いSF小説やファンタジー小説、オカルト小説などもあり、ジャンルを限定しないにしても、読む本がそちらに少し傾いていた自分には特に嬉しく感じました。また、

毎日通う学校にあるということもあり、大変通いやすかったということもあります。

中学校や小学校では図書館に明確な用が無かった為に入出入りすることも少なかった人たちも多かったかもしれません。しかし、高専に通うことになった結果、実験レポートなどの提出のために図書館を利用する機会も多いでしょう。この為、図書館という場に必然的に出入りするようになります。図書館という場所は、やはり慣れなくては、なかなか利用する機会に恵まれないものだと思います。何処にどのような本があるのか分からなければ、必要でもない本を借りる気にもならない人もいるでしょう。この図書館と言うものは、決して勉強に役立つだけの場所とは思いません。特に必要とも思えないような知識も溜め込む為に使ってもよい場所だと思います。雑誌のコーナーには自腹を切って買うにはつらい雑誌も多くあります。雑多な知識の宝庫であるブルーバックスもいっぱいあります。他の本棚に向かえば、やたらと古いハヤカワや岩波の文庫本もあれば、ヤング向けの小説も並んでいます。人生においてなんの差し障りがあるかもよく分からない哲学の本も並んでいます。これはルールさえ守れば自由に読めるのです。

今、皆さんは読む必要の無い本を一番読む時間があることを忘れないでください。また、図書館が生活の隣にある時期が今しかないかもしれないということも覚えていてください。一般開放されているので、自分はまた図書館に足を運びたいと思います。



## 平成12年度 多読表彰について

昨年の表彰式で、ご着任間もない校長先生が珍しがられた多読表彰も早や5回目を迎えました。昨年度の年間貸出総数は17,600冊でした。なお、一昨年度は18,400冊（雑誌含む）で、全国高専中トップでした。

各校で貸出の形態や統計の取り方などは様々ですので一概に言えませんが、ますます定着した感があり、今後ますますの伸びが期待されます。

月々に出される統計グラフの突出具合を見て楽しんでいるクラスも目に付きます。今回表彰された5クラスのうち、4クラスまでが4年で他の学年がほとんどなく、特に比較的時間に余裕のある低学年がゼロというのは大変残念なことに思われました。

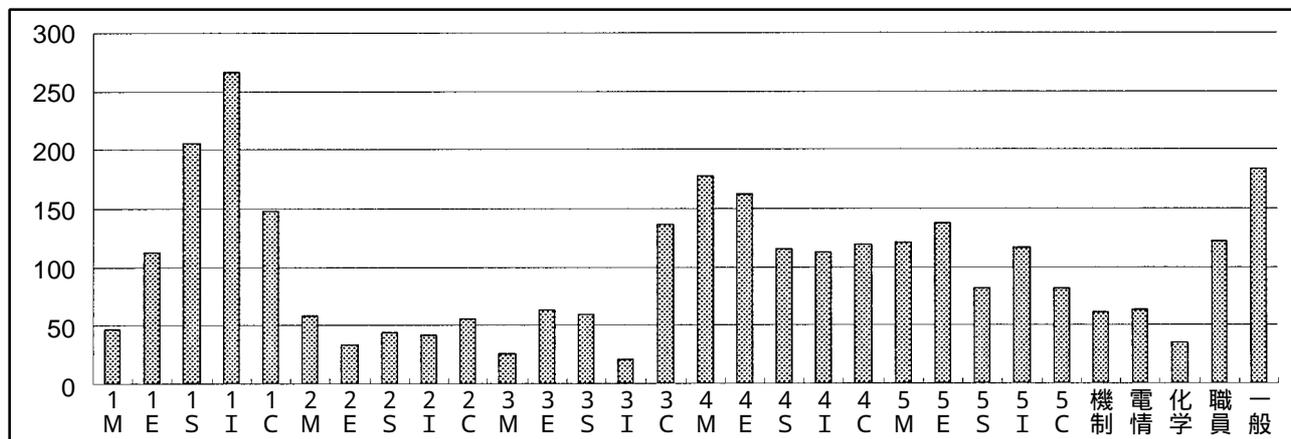
4月26日、校長室において表彰を受けたクラスは右に示すとおりです。該当するクラスには、副賞として図書館に置きたいと希望する本を選んでもらいました。

### 第5回 多読表彰学級

順位	学級 (2000年度)	一人あたり 貸出冊数
1位	機械工学科 5年	32.5冊
2位	機械工学科 4年	24.4冊
3位	物質科学工学科 4年	22.1冊
4位	電子制御工学科 4年	21.5冊
5位	情報工学科 4年	20.5冊



今年度の5月末までのクラス別貸出冊数

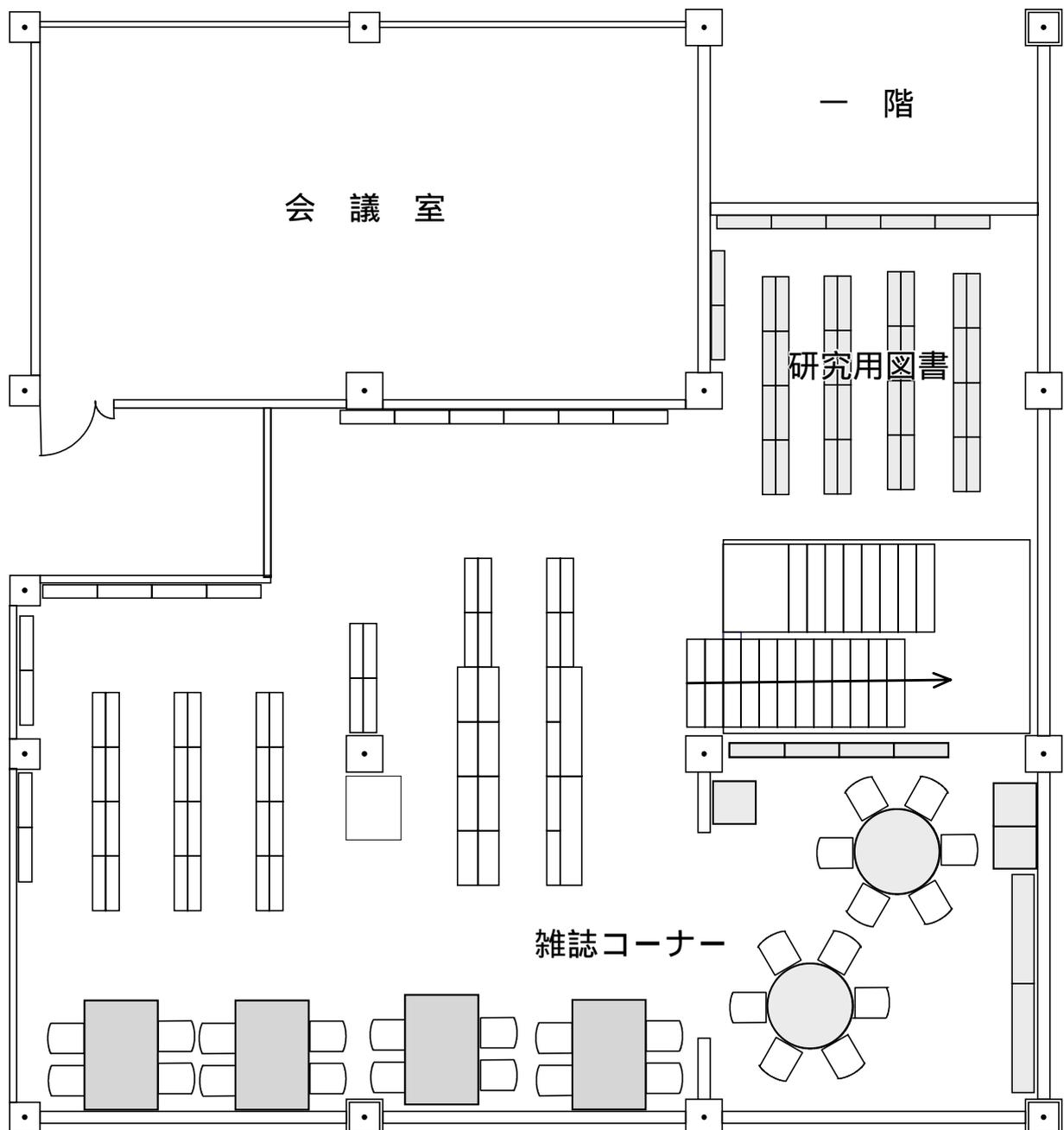


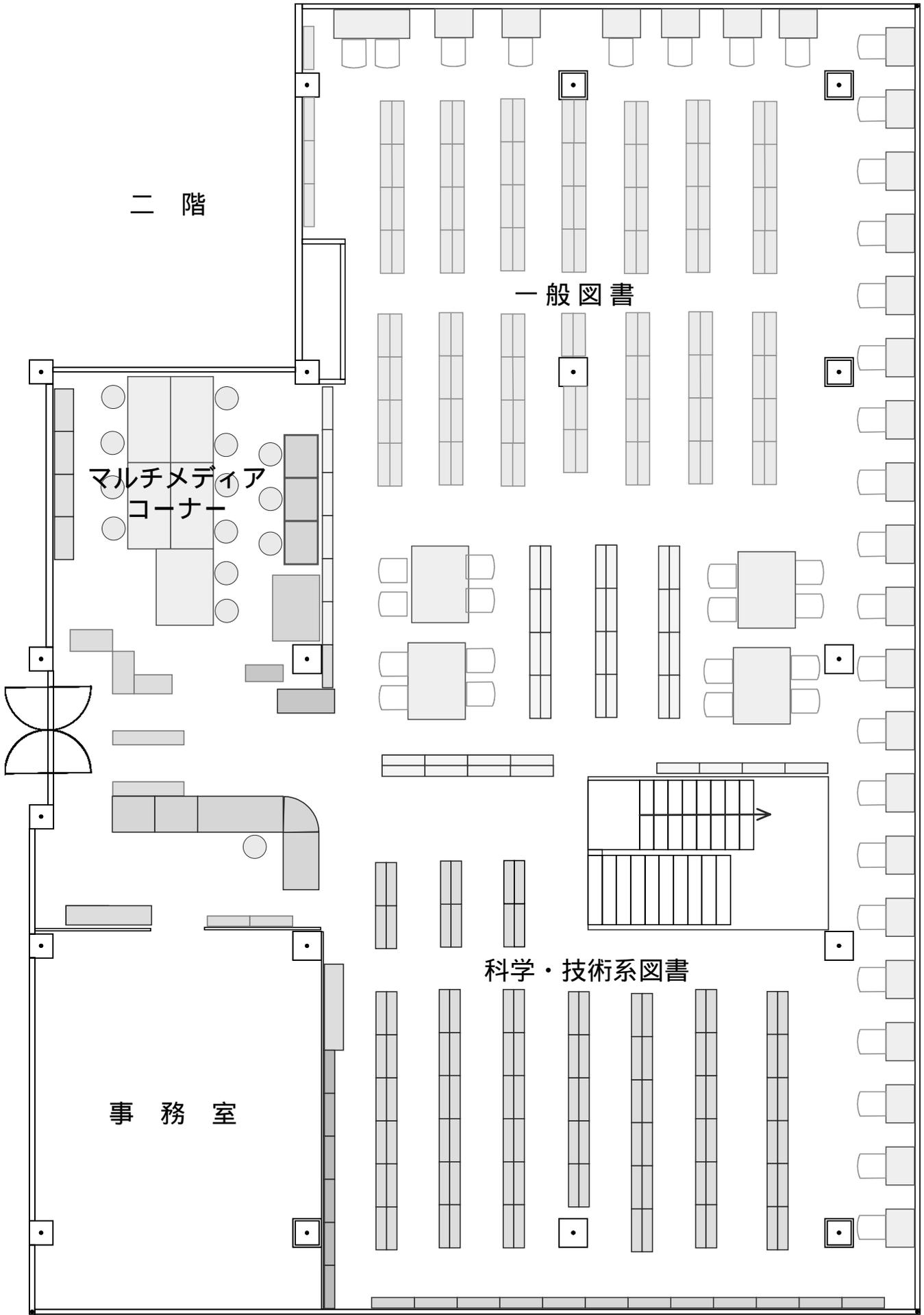
今年は1年生がすごい！

# 図書館のリニューアルについて

拡張・改修工事がまもなく完了します。新学期という大切なスタートの時期でもあり、また引き続き前期試験ということで工事中も開館していましたが、騒音や振動、臭いなどのため、快適な環境とは言いがたく、十分な利用ができなかったことと思います。工事が終了後も、開館しながら徐々に充実ということで、竣工式で一新した図書館をというわけにいかないのがとても残念ですが、図書館委員会では、教職員や学生のみなさんのアイデアや意見を取り入れながら、さらに快適で利用しやすい図書館をめざしていきたいと考えています。

完成後の図書館配置図





# 学生会 図書委員会の広場

## ブックハンティング・・・

図書委員長（4 E）玉井 芳英

それは、唯一自分を出せる時。図書館には実に多くの本が、ところ狭しと並んでいる。しかし、本当に自分が必要とする本は、一体何冊あるだろうか。ほんの一握りあればよい方なのではないだろうか。そして、こんな気持ちを抱いている学生は、少なくないと思う。実は、僕もその一人だった。

ブックハンティングとは、限られた予算の中、数十人のメンバーが思い思いの本を購入する。この時に心配なのが予算だ。自分を出そうと努力しても予算によって制限される。あと少しのところ欲しかった本を断念した例は多くある。ともあれ、これらをクリアして彼らは、本を手に入れる。

今年のメンバーは、一見したところ個性豊だ。たぶん、素晴らしい本が図書館に並ぶことだろう。期待していて欲しい。

## ご挨拶と抱負

図書副委員長（4 M）山野井 祐太

みなさんこんにちは。昨年に引き続き、今年も副委員長にさせていただきました。少し離れた位置から物事を見ることがあるので副という立場は大変自分にあってるなぁと思ったりします。毎年の活動は図書館の本の貸し出しを行うカウンター業務や図書館の蔵書を図書委員自ら選ぶブックハンティング（年2回）、また学生の皆さんから希望が出された図書を実際に購入するかどうか検討をしたり希望調査をしたりもします。さて、そのような基本業務もやっていますが、図書館をよりよいものにするために、昨年度から委員会を定期的に行うことにしました。その結果、会議の出席率も上がり、また委員会がある日程を想定しやすくなかなか上手くいったと思います。また、大阪のジュンク堂書店にて行われた専門書のブックハンティングも新しい試みでした。学生の目から見た「欲しい専門書」を探すことができました。

今年度は工事の関係もあって図書館としての変革期に入っていますが、委員会の活動の方はしっかりと地面を見据えた委員会活動ができればいいなと思っています。昨年決めた新しい試みをしっかりと基礎固めしつつ、更に新しいことに常にチャレンジしたいと思います。昨年から検討されていた個人の自由研究図書制度も今年こそは是非実現できるように話し合いを進めたいと思います。

私たち図書委員会の活動は利用する皆さんからの要望が一番参考になります。普段図書館を利用して感じたことやご意見、ご要望があればクラスの図書委員や私にどんどん言って下さい。私たち図書委員会からもどんどん新しい提案をしていきたいと思っています。皆さんにとって常に心地よい便利な図書館になるように努力していきますのでよろしくお願いします。

## 快適な図書館をめざして

図書副委員長（4 I）元庄矢 崇仁

2年生の時、初めて図書委員になり、それ以来知らず知らずのうちに継続ということで3年、4年も図書委員になっていました。さらに今年は何の成り行きか副委員長にまでなっていたり（笑）、一応、立候補という形で副委員長になったからには、しっかり仕事はしていきたいと思っています。と、いいつつ去年の活動をあまり覚えていないというのが現状ですが・・・。

6月には工事が終わり図書館が以前よりも広くなります。この図書館拡大にいろいろと問題は山積みかもしれませんが、その問題を解決していくのが我々図書委員の仕事です。図書館を快適かつ便利に使えるようがんばります！

年3回の図書館だよりの発行、6月と10月に行われるブックハンティングと例年通りの活動をはじめ、以前から思っていた図書館に対する希望の実現も、積極的に行っていききたいと思っています。

# こんな本を買いました！

## 第16回ブックハンティングを大型店で

1月13日(土) ジュンク堂書店・堂島店において第16回ブック・ハンティングが行われました。これは、地元書店には専門書が少ないという、学生図書委員の意見により、実現したものです。

### 「HSP プログラミング入門」

元3S 藤岡 幹雄

HSPは、Windows上で手軽に使えるフリーのスク립ト言語システムです。テキストによるスク립トを書くだけで、誰にでも簡単にWindowsのアプリケーション(ソフト)を作る事ができます。多彩な命令セットを使いこなす事でゲームなど作成する事ができます。この本はHSPの紹介と、使い方、解説などをまとめたものです。

みなさんもこの本を読んでプログラムに挑戦してみませんか？

まですべてそろっているのに対し、高専図書館ではよい意味で限られた範囲の図書のみを多種類そろえている。そのおかげで、レポート作成などでは、どんなに大きな図書館よりも高専の図書館で調べた方がずっとはかどる。さらに無駄に歩かなくてもよい。まさに高専生のための図書館である。

しかしながら、学年が上がるにつれ、専門はより深く、また個人的なものになってくるだろう。そんな中で、自分に必要な専門書を選べる機会となるブックハンティングはこの上なく「おいしい」と思う。

### 「ソフトウェア開発短期集中ゼミ」

5S 村田 祐一

高専に入ったからには、専門の資格の一つでも取りたいと言う人がいるのではないだろうか。しかし、何から勉強していいかわからない人も多いだろう。この本は、本年度から改定になった情報処理技術者試験ソフトウェア開発技術者試験対策用に書かれた本であり、これ一冊で十分合格できるだけの内容になっている。情報処理技術者試験資格は社会に出てからも役に立つので、この本を参考に、ぜひ、挑戦してもらいたい。

### ブック・ハンティングはおいしい

5C 山田 有香

ブック・ハンティングに参加した。一学科につき四万円ほどの予算で、図書館に加える専門書を選ぶものだ。場所は大阪のジュンク堂書店。巨大な書店だ。専門書のフロアだけでもかなりの広さがあり、その大量の専門書に圧倒されてしまった。

結局、長い時間をかけ、多少本酔いをおこしながら数冊の専門書と興味のある本を選び出した。この経験から私は、高専図書館の使い易さを改めて実感した。書店では、一般向けの本から専門書

### 「フリーエの冒険」

5I 轡 華代子

「フリーエの冒険」というタイトルを聞くと、児童書や小説のタイトルかと思うかもしれない。実際、この本を手にしてみると、手書き風の文字に、ユニークなイラストつきと、まるで絵本のようなのである。しかし、その<DD></DD>は、フリーエ級数(これを聞いて頭が痛くなる人も居るのでは?)についてのれっきとした参考書である。厄介そうに思えるこのフリーエ級数も、この本に一度目を通して見れば、楽しく学べそうと思えてしまう不思議な一冊である。

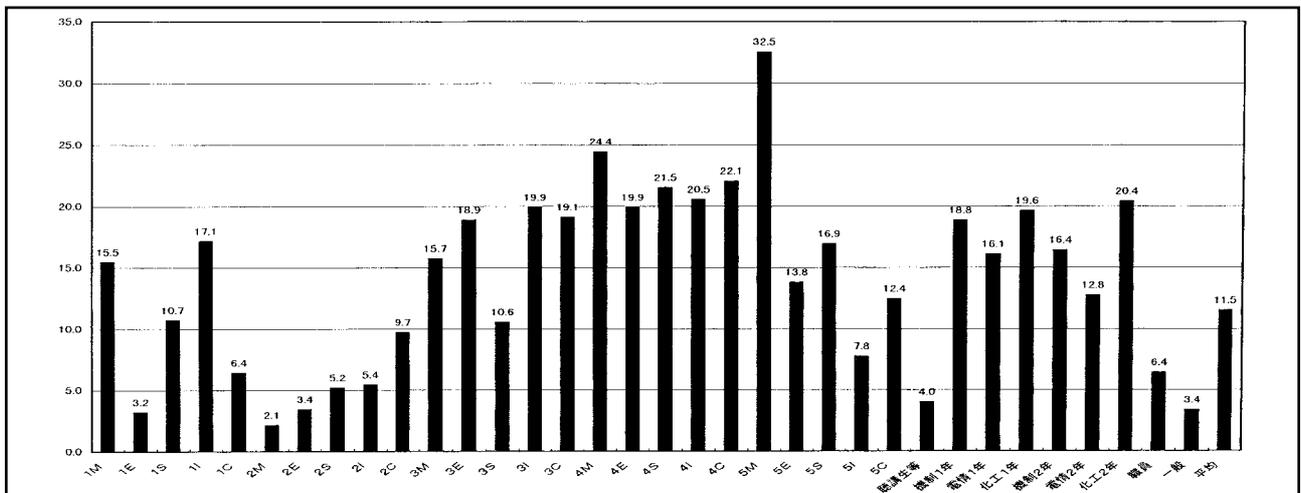


## 図書館利用状況

	1998年度	1999年度	2000年度		1998年度	1999年度	2000年度
開館日数	270日	262日	270日	分類別貸出数	18,535冊	18,475冊	17,898冊
平日	232	226	232	総記	1,234	1,453	1,824
土曜日	38	36	38	哲学	387	253	203
図書館入館者数	117,424人	107,599人	92,830人	歴史	444	593	402
平日	109,336	100,871	88,344	社会科学	416	369	315
土曜日	8,088	6,728	4,486	自然科学	2,726	2,945	3,143
一日平均入館者数				技術	4,743	5,869	5,345
平日	471人	446人	381人	産業	92	130	80
土曜日	213	186	118	芸術	2,022	1,874	1,635
文献複写依頼件数	494件	645件	736件	言語	451	490	760
受付件数	0	0	2	文学	5,405	4,327	3,822
図書借受冊数	9冊	0冊	10冊	未分類	615	172	369
図書貸出冊数	18,535冊	18,475冊	17,898冊	延貸出者数	11,077人	10,670人	10,159人
1学年	3,762	1,763	2,237	1学年	2,193	1,094	1,335
2学年	3,511	2,954	1,110	2学年	2,122	1,761	727
3学年	2,784	3,496	3,710	3学年	1,721	1,966	2,094
4学年	3,679	4,850	4,288	4学年	2,319	2,830	2,452
5学年	2,319	2,797	3,181	5学年	1,388	1,649	1,781
専攻科	1,083	970	1,485	専攻科	570	515	784
職員	637	816	924	職員	405	505	567
一般	760	829	963	一般	359	350	419

CD-ROM等の視聴覚資料も含む、ノート記入による貸出分は含んでいない。

### 一人あたり貸出冊数（平成12年度）



### 2001年度図書館委員会

図書館長	宮本止戈雄
委員	福嶋克彦、守屋雅博、小畠耕二、寺西 大、矢野順彦、小山雅史（図書部会長） 三木功次郎（視聴覚部会長、研究紀要部会長）
幹事	小柳津享（庶務課長）、橋本輝夫（学生課長）
図書係	係長：小泉最弘、司書：福井洋子、清水美代、事務補佐員：松田愛子 奥島美恵子、山口雅子

### 2001年度学生会図書委員会

	機 械	電 気	電子制御	情 報	物質化学
1学年	櫻井 涼	中山裕宇喜	大井勇人	中野晃司	島崎茉莉子
2学年	浅野真幸	本部敦郎	小林幹浩	佐藤和宏	唄 良治
3学年	岡本光由	林山智史	松村礼央	木村朋博	幸田康成
4学年	山野井裕太	玉井芳英	柴原 誠	元庄矢崇仁	西村真一
5学年	森 満帆	新 将司	村田祐一	轡華代子	山本愛子

：委員長、                   ：副委員長

# いくつかの偶然をへて 人は人に会い、人は本に出会う

## 夏休み読書感想文コンクールに応募しよう！

図書館委員会では、今年も国語科の協力をえて、「夏休み読書感想文コンクール」を行ないます。  
(要領や課題参考図書については別途配布します)

感想文や評論・レポートを書くことは、思考力を養う、考えをまとめる、構成力をつける、文章力を向上させるのに大変役立ちますが、なによりもよい本に出会えるまたとないチャンスです。比較的まとまった時間のとれる夏休みに、今の自分に相応しい素晴らしい本にぜひ出会って下さい。

## 街の図書館に出かけよう！

### 大和郡山市に市立図書館がオープン

6月1日、やまと郡山城ホール内に新しく市立図書館がオープンしました。大和郡山市に住んでいる人はもちろん、市内に通勤、通学している者なら誰でも利用できるそうですので、見学がてらに一度利用してみたいかたがでしょう。素敵な本に出会えるかも。(はじめて利用する場合は、健康保険証、運転免許証、学生証などを持参のこと)



#### 開館時間

月・水・木・金曜日 午前9時30分～午後7時  
土曜日 午前9時30分～午後9時  
日曜日・祝日 午前9時30分～午後5時

#### 休館日

火曜日・第3水曜日  
館内整理日(1/4、1月以外は第1水曜日)  
祝日にあたる場合は翌日休館  
年末年始(12/28～1/3)  
特別整理期間

#### 駐車料金

2時間以上500円

## 友情を育てよう！

最近の文庫・新書棚から友情をテーマとして

- ・「友情の文学誌」 高橋英雄著 岩波新書

古くから文学の重要な素材や主題となってきた友情を、作品や作者である文学者の人生の中にふりかえって考えてみたいという願いで書かれました。漱石と子規、漱石と寺田寅彦、芥川龍之介と菊池寛など、人が人として成長するのに欠かせない友情のさまざまな形、そしてそれがどのように作品に影響を与えたかなどを検証しています。そうだったのか、ととても興味深く読めます。

- ・「友情」 武者小路実篤著 岩波文庫、新潮文庫

「友情は破れ去るために存在するのだ。破れたことを通じて人間は再び立ち上がる契機をつかむことができるのだから…」という想念で書かれた古くて新しい恋愛小説的友情小説です。

- ・「さぶ」 山本周五郎著 新潮文庫

江戸下町の経師屋芳古堂に住み込む同い年の職人、男前で器用な栄二と愚鈍だけれど誠実なさぶという二人の青年の純粹でひたむきな愛と行動の物語です。やがておとずれる無実の罪という試練の中で生まれる真実と友情を描く青年期の精神史ともいえる名作です。これを読んで泣かない人はいないでしょう。

- ・「黒い兄弟」 リザ・テツナー 福武文庫

かつて日本も貧困だったころ、人身売買が生活の手段として行なわれていた…。実話をベースに展開される不幸な少年たちの友情物語です。最近では使われる事も少なくなった勇気やそれを支える仲間意識、友情など。豊かになれば人は孤独でも生きられるのでしょうか？女子学生に薦められて読んだのですが、生きることへの活力を失った惰性の毎日にちょっとしたショックを与えてもらった気がしました。それにしてもつくづく友情の育たない時代だなと思います。



### 編集後記

新入生にとっては初めての図書館だより52号がやっと出来あがりました。今号は新任の先生方からは読書の大切さを、又卒業生からは五年間、もしくは専攻科を含めた7年間に悔いのない読書生活を送れるよう、適切なアドバイスや（苦言も含めて）、図書館利用法などのメッセージを寄せていただきました。寄せられたメッセージを読んで、毎年のように思うのです。「充実した高専生活はやっぱり図書館とは切り離せない」と。今回も51・響さんが素敵な季節の花で表紙を飾ってくれました。

最後になりましたが、ご協力下さった皆様方に深く感謝致します。（図書館委員会）

奈良工業高等専門学校図書館 〒639-1080 大和郡山市矢田町22 TEL 0743-55-6015

URL <http://library.nara-k.ac.jp/>

# 図書館だより

Library News No.52

Nara National College of Technology

2001年7月 奈良工業高等専門学校図書館発行



## 目 次

巻頭言 「学ぶ」ということ	
図書館長 宮本止戈雄 .....	2
新任教官からのメッセージ .....	3
卒業生からのメッセージ .....	5
多読表彰について .....	9
図書館のリニューアルについて .....	10
学生図書委員会の広場 .....	12
図書館利用状況 .....	14

2001年度図書館委員会・学生図書委員会 .....	15
いくつもの偶然をへて	
人は人に会い、人は本に出会う	
読書感想文コンクールに応募しよう! ...	15
街の図書館に出かけよう! .....	15
友情を育てよう! .....	16

表紙のカット 51 轡 華代子さん